

## 令和5年度 第2回守口市市民協働推進会議 会議要録

令和5年10月25日(水) 午前10時～  
中部エリアコミュニティセンター 会議室2

<b>出席者</b>
<b>【委員】</b> 久保由加里会長、田中逸郎副会長、深田政好委員、東野邦子委員、横山淳委員、加藤淳一委員、小出澄子委員、仲嶋浩平委員 <b>【事務局】</b> コミュニティ推進課課長 山本昇、課長代理 木南翔、主任 藤田将司、一井麻衣 <b>【会議傍聴者】</b> なし
<b>会議要録</b>
<b>【開会】</b> ○事務局あいさつ ○出席委員の確認 出席委員8名(欠席委員:平井委員) ○配付資料確認 ○プレゼンテーションの進行確認 各団体プレゼンテーション15分・質疑応答15分の30分程度とする。
<b>【議題1】</b> 「守口市公募型協働事業提案制度(令和5年度募集、令和6年度実施分)第2次審査・公開プレゼンテーション」
◆(プレゼンテーション1) 「東海道57次宿駅完成400年記念プロジェクト」:守口門真歴史街道推進協議会 -----【プレゼンテーション】----- <b>【質疑応答】</b> ○委員 プレゼンテーション、ありがとうございました。57次の勉強をさせていただいて、私も知らないことがたくさんありました。 もちろん御発表いただいた会の皆様は知っておられるんでしょうけれども、印象としては、守口市民の方はそういうことはどのぐらい御存じなのでしょうか。 ○守口門真歴史街道推進協議会 10%ぐらいです。 ○委員 多くの方が御存じじゃないんですね。 ○守口門真歴史街道推進協議会 そうですね。こういうプロジェクトは、何年に1回かはやっています。前は、守口の宿場ができたのが1616年なので、2016年にも1回開催しました。 我々も2つの目標を持っていて、自分達が勉強するということ。もう一つは市

民にこれを何とか知らせていくということ。この市民に知らせるいうところが、市役所の力をお借りしないと集客が難しいので、そういうところも含めて、これからどうしたらいいのかということを含めていきたいと思っております。

○委員 生涯学習というのは、自分が勉強して、生涯学習を通して、社会に還元するという、非常に大事になってきますよね。そういう意味では、行政としても、やっておられることはいいことだと思います。

○委員 生涯学習・スポーツ振興課の方にお尋ねしたいんですが、守口の歴史文化を紹介できるような何か、57次だけに限らなくても、郷土の良さや歴史を市民の人が手に取って分かるようなパンフレットやリーフレットみたいなものはお作りなんでしょうか。

○担当課 文化財マップというものがございます。それを一昨年に更新しまして、新たに追加された本市の指定しております中村家文書等と、先ほども言いました難宗寺さん、文禄堤の中でも徳永家住宅という古い民家があるんですけども、佐太天神さん等そういったもの全てを網羅している冊子がございます。

○委員 ありがとうございます。歴史文化の市民向けのPRや啓発はもちろん、当日の事業の中でも配付なさる等していかれたら少しずつ広がるのではないかなと思います。それと、守口の市史はございますよね。

○担当課 あります。

○委員 これは、御担当課は市史編纂課のようなものはあるんですか。

○担当課 法制文書課が所管しています。

○委員 そうですか。何かそういう市史編纂の御担当の方とも一緒に企画のプロジェクトに入られて、生涯学習・スポーツ振興課、歴史街道推進協議会、市史編纂担当と具体的な進行、中身、配布するものを、せっかく協働するなら、関係するところが知恵を出し合ったら、もっとブラッシュアップしたいイベント、事業になるんじゃないかと思いました。以上です。

○担当課 ありがとうございます。

○委員 プレゼンテーションありがとうございました。私もぼんやりと知っているような感じだったんですけども、歴史的背景を聞かせていただいて非常に理解できました。

1点、予算の中にあります収支積算の入場料1,000円で335人と記載がありますけれども。この335という数字は何か、例えば似たようなイベントがこのぐらいの収容があったので参考にしたとか、何か根拠みたいなものはあるんでしょうか。

○守口門真歴史街道推進協議会 それは特にありません。30万ほど予算を作るために、一人頭1,000円としたらそのぐらい必要ということで300名としましたが、はっきり言うと厳しいです。

それと、肝心な人が来なかったら何もなりませんので、有償でどうなのかということをもう一回詰める必要があります。一応、試算の中で出したということです。

○委員 支出をまず算出してから、これだけかかるからこのぐらいの収入が必要だということですね。

○守口門真歴史街道推進協議会 そうです。

○委員 守口の市民祭とか、例えば比較にはならないんですか。大分人数、来られていますか。

○守口門真歴史街道推進協議会 それは、色々なコーナーがあるから来られているとは思いますが、歴史は地味な話ですから、好きな人は来てくださるけど、余り興味ない方は来ないので、それをどうしていくかというところがあります。

○委員 周知の仕方とかも工夫は必要かなと。分かりました。ありがとうございます。

○守口門真歴史街道推進協議会 できれば無料でやりたいというのはもちろんあるんですが、どうしても経費がかかるものですから。

○守口門真歴史街道推進協議会 この志田さんとの付き合いはお宝鑑定団にうちの仲間が掛け軸を評価してもらうので持っていったんです。そのときに、私は応援で法被を着て前に座っていたら、テレビに映ったんですね。それを見て、志田さんが感動しまして、守口で57次の話をしてくれていると、すっ飛んでこられたんです。ぜひ、これから一緒になってやりたいと言われてね。なかなか53次のところを回っても、57次の話してもばかにされて余り聞いてくれないと。だから、非常に喜んでおられました。今でも本に出すぐらいですから、この守口と枚方はよく来られます。

○委員 今回、東海道が57になっての400周年記念プロジェクトということで、これまでも歴史街道推進協議会さんはこういう大きなイベントをされていらっしゃるんでしょうか。

○守口門真歴史街道推進協議会 しています。

○委員 そのときは、例えば費用面においては、御自身のほうで出されてらっしゃるということですか。

○守口門真歴史街道推進協議会 寄附をもらったり、一部出したりとかしています。

○委員 今回、こういう形で市の方と費用面の部分でというのは初めてということですか。

○守口門真歴史街道推進協議会 そうですね。今回は大々的ですから、こういうのは初めてです。

○委員 先ほどの御質問の中で、なかなか300人以上が厳しい部分があるかもしれないというお話があったと思うんですけども、仮に、想定よりも少なかったとしたら、その分は御自身のほうで補填をされる見込みがあるんでしょうか。そ

れを望むわけでは全然ないんですが、最悪の場合を考えたときに、そういうのはあり得るということではよろしいのでしょうか。

○守口門真歴史街道推進協議会　そうですね。寄附を募るとかいろいろやってまいります。

○委員　そうすると、担当課としては、市も一定の負担を求めて来られているわけですから、これについての予算要求はどう考えていられますか。

○担当課　当然、協議会で協議していただいた上での話ですけれども、会場費や広告媒体など、こちら市の広報誌の部分に関しては無料でいけるのではという判断はしておりますけれども、採択となった場合には、会場使用料等々の援助はしていくという考えで、通るかどうかは分かりませんが、予算要求をさせていただこうという判断はしております。

○委員　例えば生涯学習の中のこういうのに使える基金はないのですか。

○担当課　援助基金というのはもう来年の審査になるので、援助基金でやるのであれば、この予定されている6月に間に合わないということで不採択という可能性があります。

○委員　分かりました。予算の話はまた行政側の方でさせていただこうかなと思います。協働事業としてこの事業をやられる趣旨そのものについて、決して協働の趣旨にそぐわないとか考えているわけではありませんが、今申し上げたのは、行政としての予算面というのが必ずしもこの場で、例えばその採択となったということをもって確約できる部分がどこまであるかについては、楽観的なことを私の方からは申し上げられない部分もあって、あえて申し上げているということです。

○委員　御質問が何点かあるんですけども、その東海道57次っていうことについて、これは教科書であるとか、文科省ですよ。というのでは、もう既に認められていることなのですか。

○守口門真歴史街道推進協議会　教科書は10個ぐらいあるんですけども、ようやく1つに載ってます。そういうところを、志田さんも立ち会っていろいろ行かれてますけれども、今のところ53次が主流です。

○委員　今内容を見させていただきましたら、小学校とかにいろいろと御訪問をいただいておりますかと思っておりますけれども、これは、どういった内容でしょうか。

○守口門真歴史街道推進協議会　小学校は毎年3学期に小学校3年生が郷土歴史を学ぶカリキュラムが組まれているんです。それを我々でお手伝いして、佐太や文禄堤を回る等、学校の近くの史跡を、1週間前に勉強会をして、その1週間後に我々がガイドして回るということで、これはようやく定着してきました。初めは1校から始めたんですけども、校長会に出させてもらえるようになって

て、去年はコロナがあったんで14校中9校、一番多いときは14校中14校開催しました。

○委員 ということは、教育委員会側も絡んでということですよ。

○守口門真歴史街道推進協議会 そうです。もう7～8年程ほどしております。ただ、57次っていうことをやるのではなく、郷土の歴史を学ぶということでやっておりますが、必然的に東海道は57次なんやでという話は出てきます。

○委員 教育委員会としても郷土学習には、結構最近は力を入れておられますので、教育委員会として教材を作る等をされております。

○委員 ありがとうございます。

○会長 最後に私から感じたことを述べさせていただきます。

長年、情熱を持って活動をされていて本当に頭が下がる思いがしております。今回のこの事業も含めてですけれども、やはり守口の文化資源について、次の世代へどんどん意識を持っていただきながらつなげていくということが非常に大切だなと思っております。

そういう意味で、今回のこのイベントも、関係者だけではなく、幅広い層の方に来ていただきたいように思います。

そのために何ができるかと考えた際に、やはり市民協働されるとすれば、どういう告知の仕方をするかというので、色々な手法ありますが、やはり若い世代にも目にとまるような形で、SNSを使ったような方向であるとか、Twitter、フェイスブックとかを使いながら、やっぱり若い世代に到達できるような方法を考えていっていただきたいというのが非常にあります。

そういう意味で、告知の仕方と、それからあとは午前中に今度ガイドをされるということで、これもすばらしい取組だと思うんですが、もちろん人数制限があるでしょうけれども、いろんな人たちに分かる形のアピールをしていただきたいなとすごく感じております。そこをお願いしたい点だと思いました。

#### 【最終審査】

◆提案事業名 「東海道57次宿駅完成400年記念プロジェクト」

―――【検討・審査内容については非公開】―――

採択

○会長：これをもって今年度の協働事業に係る審査は終わりました。

最終結果としまして、今年度は3件の事業応募がありましたが、第1次・2次の審査の結果、自由課題提案型1件が来年度事業実施に向けて採択され、担当課と協議を進めていただきます。

#### 【議題2】「答申（案）について」

- 会長：事務局から説明をお願いします。
- 事務局：内容につきましては、ご議論いただきました内容を盛り込む形で改めて作成いたしますので、内容の大筋やレイアウト等につきましてご意見、ご確認いただければと思います。
- 会長：内容の大筋やレイアウト等で、ご意見がありましたらお願いします。  
(意見なし)
- 会長：それでは、大筋については、本日ご議論いただいた内容を反映させた形で事務局に答申を作成いただきます。答申の細部につきましては、前年度と同様に副会長と私に一任いただきたいと思いますので、併せてのご確認をよろしく願いいたします。以上でございます。各委員、何かご意見・ご質問等はありませんか。  
(意見なし)
- 会長：では、本日の市民協働推進会議はこれにて閉会いたします。  
皆さま長時間にわたりお疲れ様でした。

( 終 了 )